

令和元年度 第3回 高知支部評議会

資料

議題 「保険者機能を発揮するための事業」について

令和 元年 9月19日

目次

令和2年度の重点項目	P. 1
1. 保健事業	P. 2
2. 医療費適正化事業	P. 7
3. 広報関連事業	P. 11

評議員の皆さまへ

令和2年度の事業計画策定に向けて、保険者機能強化の観点から、

『保健事業』『医療費適正化事業』『広報関連事業』について、

評議員の皆さまの立場から、自由なご意見をお願いします。

令和2年度の重点項目

事業区分	事業項目	目 的	概 要	ページ
保健事業	特定保健指導	加入者の健康増進		P. 2
	要治療者の受診勧奨	重症化予防		P. 5
医療費適正化	ジェネリック医薬品使用促進	患者負担減 医療費適正化		P. 7
広報	メルマガ配信	事業主・加入者の 理解促進	月1回配信	P. 11
	健康保険委員（広報誌）	事業主・加入者の 理解促進	健康保険委員に送付	P. 11

（参考）インセンティブ制度の評価指標と高知支部の順位

評価項目	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度 (速報値)
特定健診の受診率	17位	13位	7位
特定保健指導の実施率	38位	37位	24位
特定保健指導対象者の減少率	45位	45位	47位
医療機関への受診勧奨を受けた 要治療者の医療機関受診率	8位	31位	46位
ジェネリック医薬品の使用割合	45位	47位	46位
総合順位	43位	47位	47位

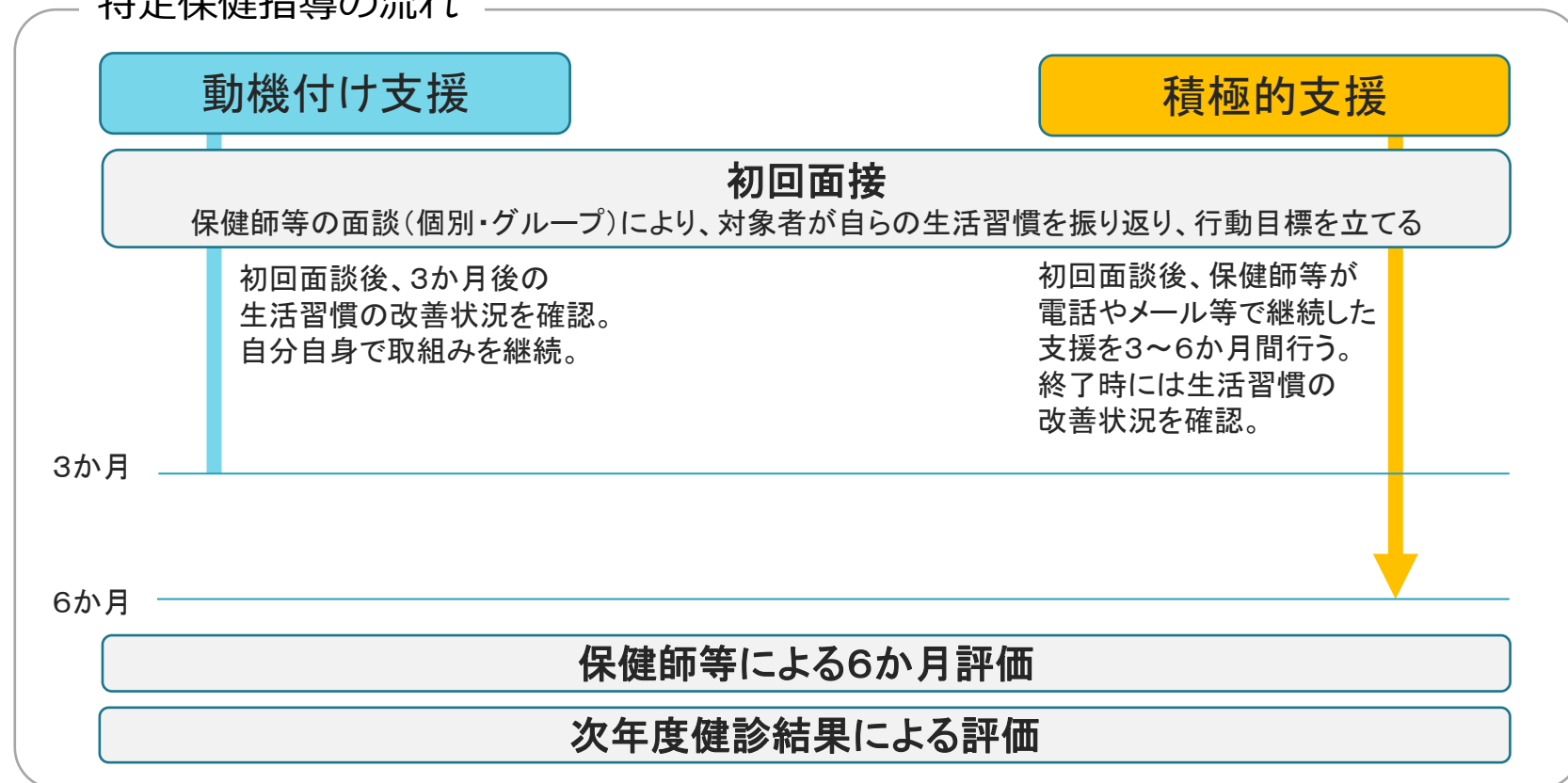
1. 保健事業

・特定保健指導

事業項目	目的	実施機関	健診受診後の指導開始時期	平成30年度実施件数 ()内は平成29年度
健診受診後の特定保健指導	加入者の健康増進	支部所属の保健師等による特定保健指導	・約3か月後	1,933件 (1,274件)
		委託健診機関所属の保健師等による特定保健指導 (契約16機関中、8機関が実施)	・当日 ・後日	419件 (248件)

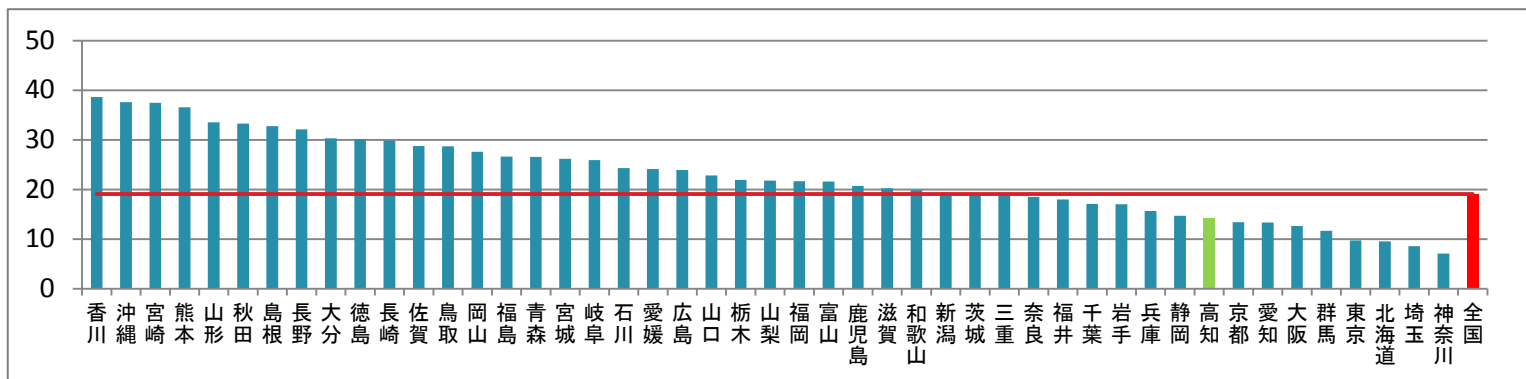
特定保健指導・・・内臓脂肪の蓄積により、血圧高値、脂質異常、血糖高値等、生活習慣病の発症リスクが高く、その予防が期待できる方に保健師・管理栄養士等専門スタッフが生活習慣改善のサポートを行うもの

特定保健指導の流れ



・特定保健指導（被保険者・初回面談）

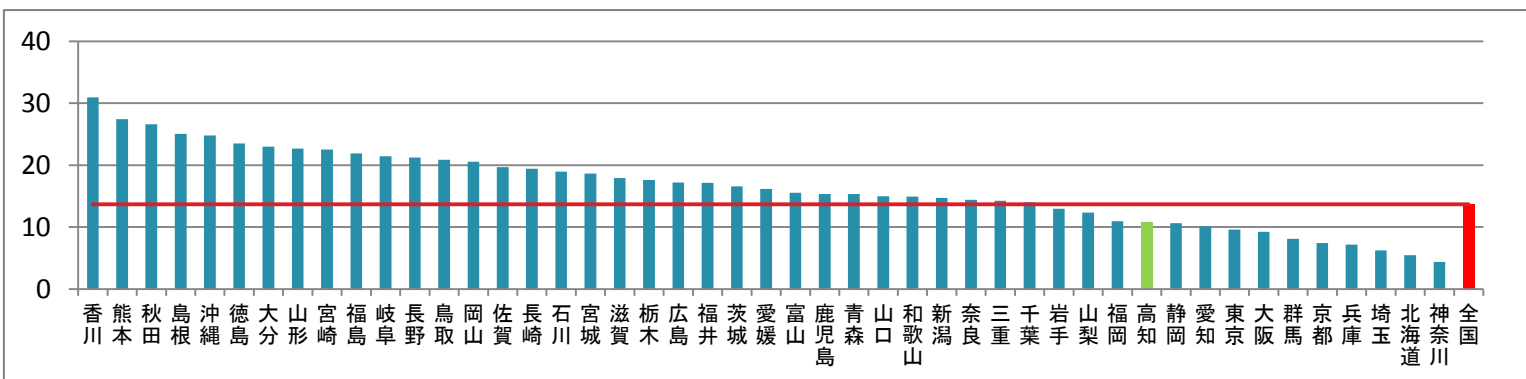
2017年度の高知支部の実施率と全国平均（データソース：各支部からの報告による請求ベースのデータ）



なお、2018年度の実施件数は、2017年度と比較して79%の増加となっている。

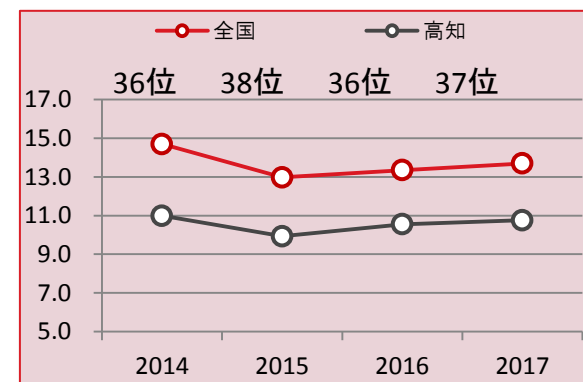
・特定保健指導（被保険者・6か月後評価）

2017年度の高知支部の実施率と全国平均（データソース：各支部からの報告による請求ベースのデータ）



インセンティブの指標は、最後まで特定保健指導を受けた方（評価者）の数であり、いかにそれを増やすかが重要となる。

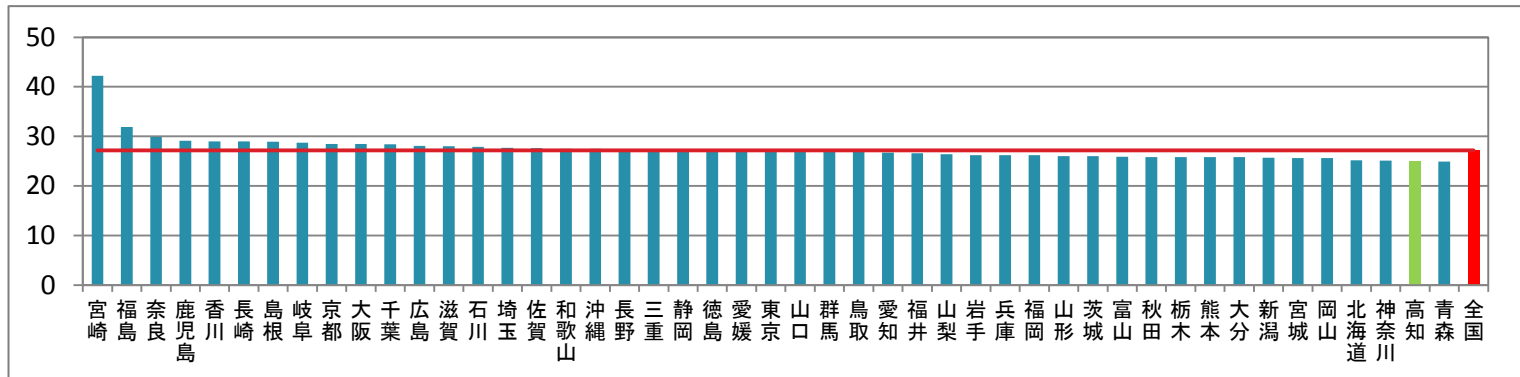
2014年度から2017年度の高知支部の6か月評価実施率と全国順位及び全国平均



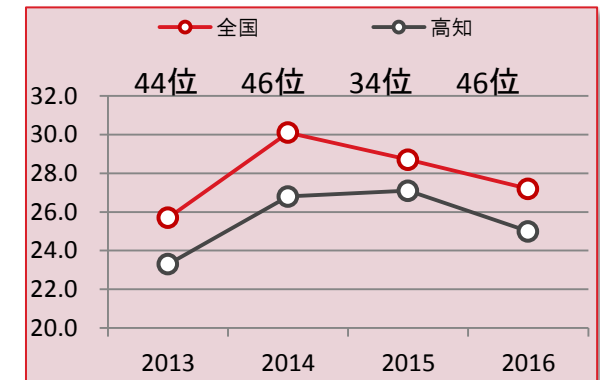
	年度	実施者数	実施率 (%)
高知支部	2014	1,310	11.0
	2015	1,219	9.9
	2016	1,384	10.5
	2017	1,487	10.8
全国平均	2017	-	13.7

・メタボリックシンドローム該当者減少率

2016年度の高知支部の減少率と全国平均 (データソース: 国への報告データ「内臓脂肪症候群該当者の減少率」)



2013年度から2016年度の高知支部の減少率と全国順位及び全国平均



議論のポイント

今回の評議会でご意見をいただきたい部分です。

どうすれば、特定保健指導を会社の方針として受け入れてもらい、積極的に受けていただけるか。

例えば、

- ・ 個人の行動変容を支援する指導者のスキルアップ
(研修の実施や、指導者の実績の違いの分析)
- ・ 健康づくりの環境整備
(健康経営の推進など)
- ・ 指導を受ける方を増やす
(対象者への案内を増やす。案内文書の工夫など)

	年度	減少者数	減少率 (%)
高知支部	2013	1,350	23.3
	2014	1,476	26.8
	2015	1,817	27.1
	2016	1,798	25.0
全国平均	2016	-	27.2

・ 要治療者（血圧・血糖未治療の被保険者）の医療機関受診勧奨

【事業の目的】

健診結果で要治療・要精密検査と判定されながら、速やかに医療機関を受診している加入者は少なく生活習慣病の重症化が懸念される。文書や電話等による受診勧奨で、生活習慣病の重症化を防ぎ医療費適正化及びQOLの維持をはかる。

【事業概要】

生活習慣病予防健診で、血圧値・血糖値が要治療と判定されたにもかかわらず、医療機関を受診していない治療放置者に対して、かかりつけ医への受診勧奨を実施する。一次勧奨は、健診受診後6か月経過後に文書で実施し、その後、ハイリスク者に、訪問・電話・文書で二次勧奨を実施する。

【対象者】

・ 一次勧奨

35歳以上75歳未満の生活習慣病予防健診受診者（被保険者）で、以下の基準に一つでも該当する者に、協会けんぽ本部から受診勧奨の文書を郵送。（右図の  ）

収縮期血圧	拡張期血圧	空腹時血糖	HbA1c
160mmHg以上	100mmHg以上	126mg/dl以上	6.5%以上（NGSP値）

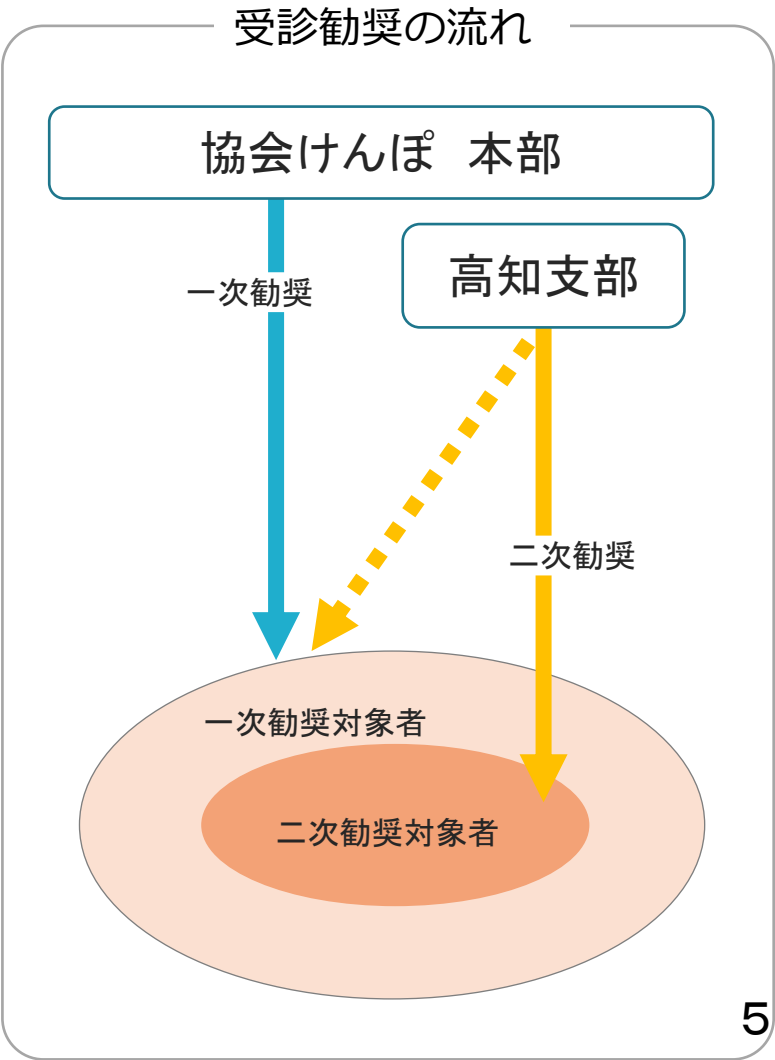
平成30年度後半から、一次勧奨対象者のうち血糖値が高い者に、面接による受診勧奨を開始。（右図の  ）

・ 二次勧奨

一次勧奨対象者のうち、以下の基準にひとつでも該当する者に、協会けんぽ支部から訪問・電話・文書などで受診勧奨。（右図の  ）

収縮期血圧	拡張期血圧	空腹時血糖	HbA1c
180mmHg以上	110mmHg以上	160mg/dl以上	8.4%以上（NGSP値）

平成30年度から、できる限り、訪問による受診勧奨を実施。
面接した57人のうち28人（49%）が医療機関を受診している。



【実績】

	平成27年度健診	平成28年度健診	平成29年度健診
一次勧奨	2,298人	2,616人	2,735人
二次勧奨	302人	432人	355人
医療機関受診数	171人	258人	269人
医療機関受診率	7.4%	9.9%	9.8%
医療機関受診率 (全支部平均)	7.9%	9.3%	9.5%

H30年度からは訪問・面談による受診勧奨を実施中。

【高知支部加入者の傾向】

一次勧奨による医療機関受診率は低いが、二次勧奨による受診率は非常に高い。

このことから、単に文書による通知ではなく、「強く背中を押されると動く」というのは間違いない。

協会けんぽ以外からも背中を押していただきたい。

議論のポイント

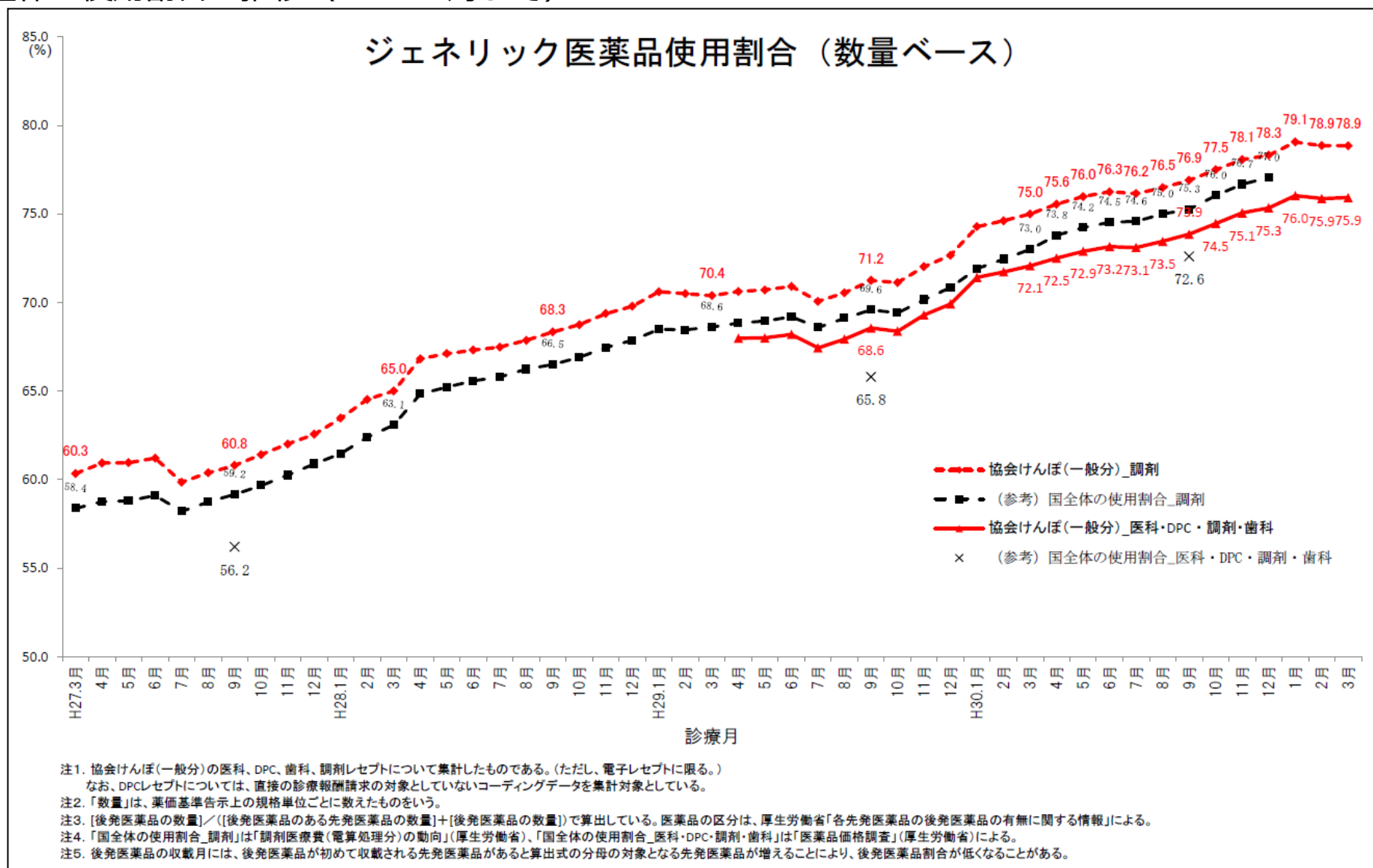
どうすれば、被保険者が積極的に受診勧奨に応じて、または勧奨を待たずに自発的に医療機関等を受診してくれるようになるか。

例えば、

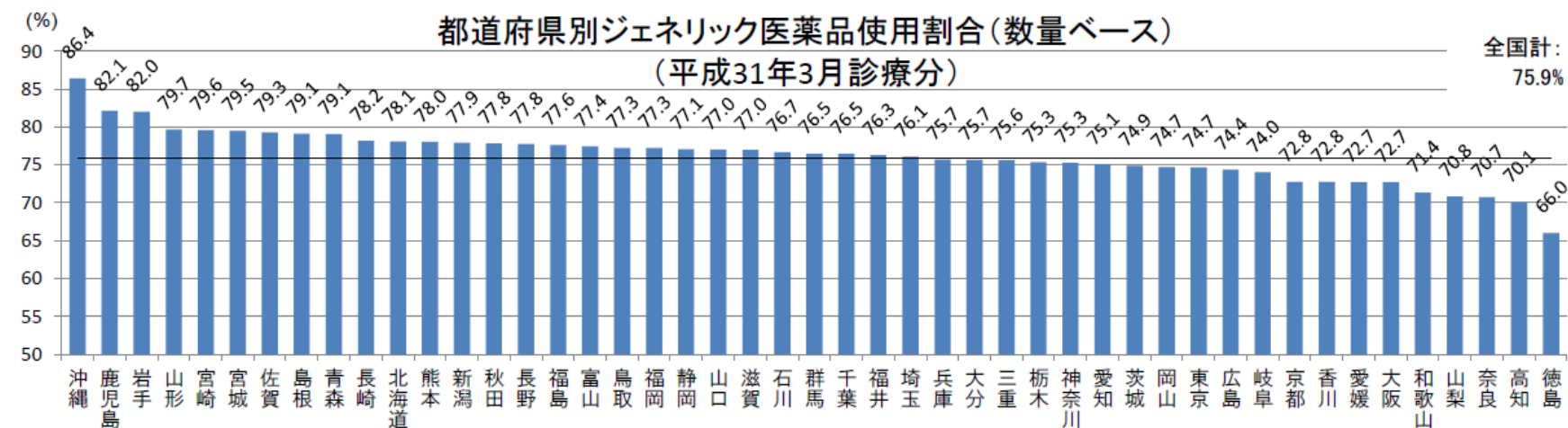
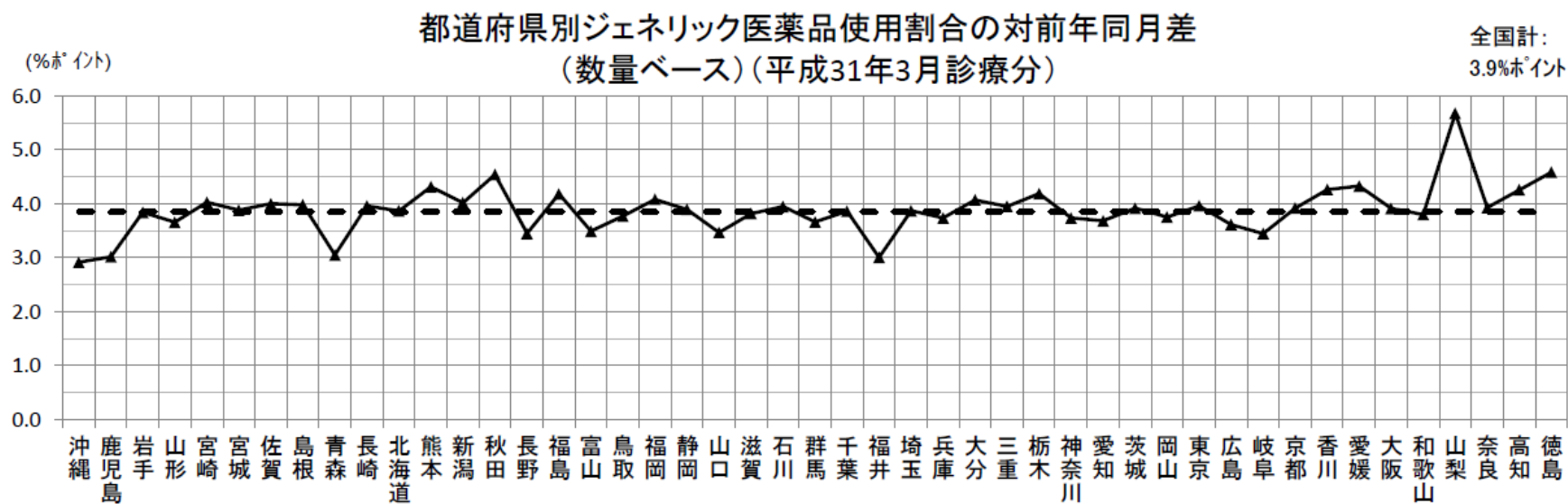
- ・ 受診勧奨に対する事業主の理解を深めるアプローチ
(健康経営の推進や、対象者の多い事業所への事前訪問、各種団体を通じた広報など)
- ・ 健診の待ち時間を活用した、被保険者へのアプローチ
(ジオターゲティングを活用した広報や、問診を行う医師の氏名を記載した注意喚起チラシの設置など)

2. 医療費適正化事業

- ・ 高知支部のジェネリック医薬品使用促進
- ・ 協会全体の使用割合の推移（2019.3月まで）



・ 支部別の使用状況（2019.3月時）



注1. 協会けんぽ(一般分)の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。(ただし、電子レセプトに限る。)

なお、DPCレセプトについては、直接の診療報酬請求の対象としていないコーディングデータを集計対象としている。

注2. 「数量」は、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。

注3. 都道府県は、加入者が適用されている事業所所在地別に集計したものである。

注4. $\frac{\text{後発医薬品の数量}}{(\text{後発医薬品のある先発医薬品の数量} + \text{後発医薬品の数量})}$ で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。

・現状の取り組み内容

アプローチ対象	加入者	医療機関	関係団体
事業	①軽減額通知 （全国一斉に年2回） ②多剤重複通知 ③広報を通じた周知	○医療機関を戸別訪問	①高知県や他保険者との連携 ②医薬品メーカーとの連携 ③卸業者との連携
内容	①切り替え効果額の提示とともに、使用促進を訴求 ②お薬手帳の一元化・かかりつけ薬局の利用促進を通じた薬との上手な付き合い方の周知 ③高知の使用割合が低いことや、インセンティブ制度との関連を通じた訴求など	使用促進に向けた抽象的な説明ではなく、切り替え可能な（容易と思われる）先発品名を個別に示すことで、切り替えに向けた具体的な検討を依頼する	①医事薬務課・国保・後期高齢者との連携事業や情報共有 ②武田薬品・大塚製薬・澤井製薬・東和薬品との情報共有や意見交換 ③高知第一薬品との情報共有や意見交換
実績	①通知者の切り替え率は全国最下位（次ページ参照） ②約2400名に送付も切り替え効果までは不明 ③協会けんぽからのお知らせ、健保委員向け広報誌・研修会、高知新聞紙面等	中規模の医療機関を中心に訪問、事務長に対して使用状況の分析データの提示による説明を実施（30年度は21医療機関を訪問）	①多剤重複通知を通じた利用促進策、ジェネリック使用促進セミナーの開催、メディアでの広報 ②特に具体的事業はなし ③〃
課題等	○加入者の理解促進 ・ジェネリックに対する理解 ・皆保険制度の理解 ・効率的な医療に対する理解 ・制度上の問題（患者の意思） ・その他	○訪問数の拡大 ○事務長に対する説明が中心だが、医師を含めた院内での方針決定まで至らない場合が多い ・効率的な医療に対する理解 ・制度上の問題（医師の判断）	○使用促進に大きく寄与するような具体策が見い出せていない

・ 支部別軽減通知切り替え状況

30年度計	送付者数	切替者数	切替率	軽減効果額/年
北海道支部	336,396	89,198	26.5%	1,821,500,333
青森支部	82,055	23,850	29.1%	408,472,326
岩手支部	58,068	17,949	30.9%	340,041,785
宮城支部	133,475	40,091	30.0%	734,277,105
秋田支部	68,842	20,570	29.9%	364,364,590
山形支部	64,163	20,047	31.2%	337,401,007
福島支部	122,369	35,878	29.3%	641,520,307
茨城支部	131,957	34,887	26.4%	672,087,449
栃木支部	97,012	29,022	29.9%	499,093,197
群馬支部	92,714	27,162	29.3%	514,844,352
埼玉支部	234,001	64,379	27.5%	1,218,589,662
千葉支部	168,892	45,042	26.7%	866,095,984
東京支部	896,027	226,201	25.2%	4,205,778,836
神奈川支部	313,896	80,424	25.6%	1,507,575,050
新潟支部	139,083	38,591	27.7%	696,236,440
富山支部	58,799	17,412	29.6%	307,016,503
石川支部	63,877	18,307	28.7%	337,826,791
福井支部	40,152	12,220	30.4%	220,069,993
山梨支部	53,701	14,196	26.4%	260,277,461
長野支部	91,290	25,504	27.9%	466,430,247
岐阜支部	128,874	37,472	29.1%	632,221,154
静岡支部	178,061	49,980	28.1%	896,923,744
愛知支部	387,804	111,942	28.9%	1,922,867,089
三重支部	86,049	25,206	29.3%	424,242,101
滋賀支部	57,424	15,766	27.5%	290,787,068
京都支部	141,728	36,847	26.0%	689,951,732
大阪支部	571,801	152,378	26.6%	2,675,491,926
兵庫支部	253,494	70,081	27.6%	1,205,792,869
奈良支部	55,914	14,856	26.6%	257,699,271
和歌山支部	50,235	14,089	28.0%	239,168,679
鳥取支部	26,902	7,783	28.9%	136,486,040
島根支部	40,625	12,121	29.8%	212,564,357
岡山支部	113,707	32,617	28.7%	570,109,900
広島支部	192,290	53,632	27.9%	881,651,415
山口支部	69,507	21,123	30.4%	347,206,338
徳島支部	53,525	14,128	26.4%	221,776,052
香川支部	69,309	19,205	27.7%	328,839,650
愛媛支部	88,694	24,260	27.4%	434,803,196
高知支部	47,758	11,826	24.8%	221,701,108
福岡支部	326,532	95,482	29.2%	1,458,629,013
佐賀支部	46,437	14,524	31.3%	221,616,638
長崎支部	79,828	24,348	30.5%	373,516,799
熊本支部	111,043	35,248	31.7%	551,288,613
大分支部	67,862	19,345	28.5%	319,338,944
宮崎支部	62,682	18,950	30.2%	303,045,139
鹿児島支部	85,157	26,762	31.4%	427,960,795
沖縄支部	57,337	17,094	29.8%	318,238,972
合計	6,697,348	1,857,995	27.7%	32,983,418,018

29年度計	送付者数	切替者数	切替率	軽減効果額/年
北海道支部	365,917	108,163	29.6%	2,484,558,904
青森支部	91,505	29,776	32.5%	605,505,177
岩手支部	68,000	22,525	33.1%	485,956,413
宮城支部	149,773	49,926	33.3%	1,020,565,959
秋田支部	78,322	25,070	32.0%	538,008,919
山形支部	73,566	25,673	34.9%	518,893,125
福島支部	132,593	41,486	31.3%	828,687,960
茨城支部	136,378	39,564	29.0%	867,810,492
栃木支部	103,414	33,471	32.4%	693,352,443
群馬支部	100,770	32,772	32.5%	698,989,209
埼玉支部	240,196	72,864	30.3%	1,583,831,143
千葉支部	175,936	52,256	29.7%	1,163,860,752
東京支部	877,018	246,678	28.1%	5,181,371,797
神奈川支部	312,819	90,718	29.0%	1,948,056,014
新潟支部	157,472	48,702	30.9%	1,016,588,578
富山支部	65,032	20,867	32.1%	433,472,363
石川支部	68,073	20,851	30.6%	434,219,216
福井支部	43,878	14,195	32.4%	302,139,286
山梨支部	56,041	15,544	27.7%	328,292,433
長野支部	100,815	31,814	31.6%	674,219,821
岐阜支部	135,294	42,865	31.7%	814,246,977
静岡支部	188,555	59,063	31.3%	1,203,902,210
愛知支部	405,402	127,036	31.3%	2,519,532,525
三重支部	90,909	29,165	32.1%	570,918,397
滋賀支部	60,390	18,056	29.9%	369,624,135
京都支部	144,826	41,138	28.4%	867,515,307
大阪支部	581,525	167,566	28.8%	3,357,777,525
兵庫支部	265,935	81,108	30.5%	1,582,831,364
奈良支部	57,397	16,600	28.9%	327,276,962
和歌山支部	51,890	15,630	30.1%	311,452,793
鳥取支部	30,709	10,255	33.4%	206,429,772
島根支部	44,698	14,881	33.3%	298,510,459
岡山支部	125,487	39,712	31.6%	777,307,369
広島支部	201,424	61,863	30.7%	1,169,707,219
山口支部	78,985	26,840	34.0%	509,802,649
徳島支部	54,439	15,411	28.3%	276,005,670
香川支部	73,307	21,776	29.7%	424,289,423
愛媛支部	92,577	27,272	29.5%	552,544,136
高知支部	49,994	13,810	27.6%	290,993,445
福岡支部	345,191	109,608	31.8%	1,922,815,924
佐賀支部	52,530	17,856	34.0%	308,476,260
長崎支部	86,115	28,459	33.0%	496,609,076
熊本支部	120,257	41,053	34.1%	698,123,262
大分支部	71,463	22,529	31.5%	427,335,785
宮崎支部	67,712	22,094	32.6%	401,685,602
鹿児島支部	96,695	33,996	35.2%	640,623,487
沖縄支部	63,369	20,226	31.9%	435,753,542
合計	7,034,593	2,148,783	30.5%	43,570,471,274

28年度計	送付者数	切替者数	切替率	軽減効果額/年
北海道支部	313,203	78,015	24.9%	1,571,329,169
青森支部	76,275	20,168	26.4%	352,251,542
岩手支部	62,775	17,040	27.1%	319,429,248
宮城支部	130,429	35,120	26.9%	622,536,410
秋田支部	70,244	18,637	26.5%	345,652,951
山形支部	61,889	17,069	27.6%	288,504,900
福島支部	119,448	31,449	26.3%	556,916,551
茨城支部	119,329	28,421	23.8%	541,355,496
栃木支部	91,388	23,581	25.8%	390,740,181
群馬支部	86,105	23,120	26.9%	419,641,938
埼玉支部	207,052	51,628	24.9%	952,253,191
千葉支部	148,302	36,141	24.4%	668,009,717
東京支部	762,963	175,766	23.0%	3,154,071,049
神奈川支部	266,329	62,052	23.3%	1,128,657,480
新潟支部	137,449	34,607	25.2%	623,805,492
富山支部	56,772	15,141	26.7%	272,937,360
石川支部	62,491	16,453	26.3%	308,478,427
福井支部	38,567	10,668	27.7%	196,136,899
山梨支部	49,659	11,299	22.8%	200,411,838
長野支部	87,942	22,536	25.6%	410,946,875
岐阜支部	115,829	30,135	26.0%	495,976,961
静岡支部	162,673	41,925	25.8%	721,102,153
愛知支部	347,859	90,825	26.1%	1,543,142,130
三重支部	78,105	21,035	26.9%	357,367,381
滋賀支部	53,266	13,267	24.9%	241,283,727
京都支部	128,077	30,882	24.1%	582,182,061
大阪支部	498,874	120,581	24.2%	2,120,537,627
兵庫支部	228,704	57,299	25.1%	966,738,219
奈良支部	48,703	11,582	23.8%	194,579,998
和歌山支部	44,808	11,333	25.3%	204,397,581
鳥取支部	26,568	7,072	26.6%	122,908,118
島根支部	38,390	10,335	26.9%	176,506,034
岡山支部	107,054	27,745	25.9%	460,594,724
広島支部	175,452	44,514	25.4%	716,614,798
山口支部	68,509	19,116	27.9%	330,987,583
徳島支部	49,858	11,474	23.0%	176,890,331
香川支部	64,823	16,548	25.5%	288,165,948
愛媛支部	80,934	20,541	25.4%	378,882,204
高知支部	44,014	10,327	23.5%	192,169,939
福岡支部	300,433	79,437	26.4%	1,187,053,074
佐賀支部	46,432	12,806	27.6%	191,087,615
長崎支部	74,363	21,005	28.2%	331,489,804
熊本支部	101,730	29,786	29.3%	450,972,194
大分支部	66,494	17,555	26.4%	289,630,042
宮崎支部	60,212	16,571	27.5%	260,691,602
鹿児島支部	83,323	24,215	29.1%	392,392,682
沖縄支部	55,375	15,729	28.4%	299,102,806
合計	6,099,473	1,542,551	25.3%	26,997,514,051

議論のポイント

全国一律で、同じ抽出条件の対象者に同じ案内文書を送付しているにも関わらず、高知の切り替え率は全国最下位。→加入者の理解不足だけが原因とは考えられない。
使用促進について、だれに（どこに）対して、どういう働きかけを行うことが効果的なのか。

『誰に』『どのタイミングで』『どこから』『どのように』『どれくらいの頻度で』など

3. 広報関連事業

・高知支部で展開している主な広報関連事業

事業項目	媒体	発行頻度	対象者	内容の自由度	協会けんぽの立場
ホームページ	電子	都度更新	制限なし	内容は比較的自由に作成可能。	受動的
メールマガジン	電子	毎月	制限なし (約563人)	内容は自由だが、文字情報のみ。 HPへのリンクなど工夫が必要	能動的
広報誌 (協会けんぽからのお知らせ)	紙	毎月	事業主 (約13,000)	事業主必須の手続きなど、 事務系の内容が多い。	能動的
広報誌 (健康保険委員向け)	紙	年4回	健康保険委員 (約1,500)	内容は自由で、他官庁との連携 も含め、制約なし	能動的
新聞紙面での掲載や 関係団体の広報誌での紹介	紙	都度	購読者 団体所属者	保険料率の関係など 事務系の内容が多い	能動的

効果的な広報（閲覧の継続や行動変容） ＝ 興味を持っていただけの内容 × 見た人の数

ホームページは受動的だが、メールマガジンからのリンクや、広報誌の二次元コードからの誘導などで閲覧が可能。

令和2年度はメールマガジンと健康保険委員向けの広報誌に絞り、効果的な広報を展開したい。

議論のポイント

どのようにすれば効果的な広報（内容・閲覧者数）が実現できるか。

例えば、

- ・ 広報のターゲット（内容）を絞り込む
（事業主が興味を持つ内容を中心にして、事業主から従業員に情報が広がるようにする、など）
- ・ 官公庁と連携して、縦割りではない広報を検討する
（官公庁合同でのパンフ作成など）